



## 8/25 性教育学習会をしました

誤った性情報や子どもへの性暴力などの危険がある中、家で子どもへどう伝えるか戸惑う。そんな声から、「伝えてありますか？性のこと」をテーマに、安藤由紀さん（人権ファシリテーター・絵本作家）を講師にお話を伺いました。

性暴力は心身を傷つけ一生影響を及ぼす深刻な犯罪です。安藤さんは、まず子どもに向けて、4つのプライベートゾーン（口・胸・性器・肛門）は他の人が見たり触ったりしてはいけない場所で、そうされそうになったら、大きな声でイヤ！と叫び、逃げて、誰かに相談してね。抵抗することは自分の体と心を守るためにとても大事なことで語りかけました。また、大人に近づく体の変化や、性交、妊娠などについてもわかりやすく伝えました。

続いて大人には、オランダなどで行っている幼児期からの年齢に合わせた性教育により、性行動に慎重になり、お互いを大事にする意識が育つことを資料をもとに説明されました。

一方日本では、文科省の指導で小中学校までは性交については教えないなど、十分な性教育がされていないため、若者の予期せぬ妊娠や性感染症が増加しています。大人が体のどこもタブーにすることなく正しい性教育を伝えることは、子どもが大人に安心して相談したり、より良い生き方を選んだりするために重要です。

会場とズーム配信を合わせて23名が参加され、「5歳の男の子が真剣に聞いていた」、「若い人や孫にも伝えていきたい」などの感想をいただきました。

7月22日(土)、調布地域協議会主催の生き物環境調査に参加しました。毎年7月に深大寺自然広場で行われる定点観測で、環境の変化が生き物にどんな影響を及ぼしているかを観察するものです。数年前にはナガサキアゲハが見つかりました。以前は西日本に分布していたナガサキアゲハが温暖化と共に北上してきていることがわかりました。

9時ごろには30度を超す猛暑の中、幼児も含めて30名ほどが集まりました。講師のお二人から、捕獲の仕方や注意点の説明を受けた後、虫探しに熱中することおよそ1時間。おなじみのオニヤンマ、ショウリヨウバッタ、マメコガネ、レアもののヨツスジトラカミキリ、特定外来種のアカボシゴマダラチョウなど、約50種類ほどが見つかりました。

マメコガネは日本在来種ですが、アメリカでは大豆やトウモロコシ畑に甚大な被害を与えて「ジャパニーズビートル」と呼ばれる困りものだそうです。そうした雑学や生き物の不思議を楽しく学べることもこの調査の魅力です。

ここ数年の猛暑で生き物にどんな変化が現れるのか・・・今年に際立った変化は確認できませんでしたが、来年はどうでしょうか。今後も観察を続けたいと思います。



## 活動報告

- 7/8 市川房枝記念会連続講座「日本の食料安全保障と農業政策」(平澤明彦氏)
- 7/10 東京・生活者ネットワーク主催 市民自治研修②
- 7/11 PFAS出前講座\*
- 7/14 調布飛行場等対策特別委員会  
新たな総合福祉センターの機能・設備に関する検討会傍聴
- 7/18 東京・生活者ネットワーク主催 市民自治研修③  
調布市子ども子育て会議傍聴
- 7/19 しんぐるまざあず・ふぉーらむミニ活動報告会
- 7/29 調布市議会新議員向け市内施設見学会
- 8/3 COP27ドキュメンタリー「気候危機が叫ぶ」上映会
- 8/4 東京・生活者ネットワーク主催 PFAS地下水汚染問題学習会
- 8/10 ストップ気候危機！主催セミナー「気候市民会議とは～気候危機問題を市民と考える手法～」(三上直之氏)
- 8/1 澤井財政研究会
- 8/21 生活者ネットワーク 調布市不登校特例校はしうち教室視察

- 8/23 香害をなくす議員の会 定例会
- 8/26 生活クラブ政策提案運動キックオフ集会オンライン参加
- 8/26 外環振動・低周波音調査会主催「地盤補修工事は地下水にどう影響するのか」オンライン参加
- 9/4～9/25 調布市議会第3回定例会
- 9/15 気候危機アクション@調布市役所前
- 9/27 調布飛行場等対策特別委員会

\* ご希望の方にPFAS出前講座を行っています。1～2時間。場所の確保はお願いしています。無料。



生活者ネットワーク子ども部会視察  
はしうち教室の前で



気候危機アクション@市役所前